資料１１

平成29年度高次脳機能障がい相談支援体制連携調整部会

ワーキンググループについて (案)

**市町村において高次脳機能障がいの個別事例検討を促進するためのHOW TO集の作成**

１．目的

　　困難事例に関する検討は、既にどの市町村でも実施されているが、高次脳機能障がいに特有の課題（中途障がい故の障がい受容への寄り添い、疾病教育[家族も含め後遺障がいに関する正しい知識の習得・病識の獲得]に向けた医療機関との連携、介護保険被保険者に係る関係機関との連携体制）を踏まえた事例検討は、まだそんなに進んでいないと思われる。

　　そのため、支援連携ツールも活用し、市町村における事例検討を活性化するためのHOW TO集の作成を行う。

２．HOW TO集　構成案

　①事例検討の進め方例

②事例検討の具体例

③市町村における先行取組の紹介

④高次脳機能障がいの課題ごとのあるべき連携例

３．ワーキングメンバー案

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 氏名（敬称略） | 所属 |
| 1 | 増田　基嘉 | 堺市立健康福祉プラザ　生活リハビリテーションセンター |
| 2 | 橋本　務 | 医療法人大植会　葛城病院　 |
| 3 | 奥田　真 | 社会福祉法人豊中きらら福祉会　第２工房「羅針盤」 |
| 4 | 丸山　幸男 | 元　医療法人光愛会 高槻地域生活支援センターオアシス |
| 5 | 仁木　仁美 | 泉佐野市・田尻町基幹相談支援センター あいと |
| 6 | 舟木　奈緒美 | 茨木病院医療福祉相談室 |
| 7 | 梶本　彩 | 富田林子育て福祉部障がい福祉課相談係 |
| 8 | 山口　真吾 | 羽曳野市保健福祉部福祉支援課障害者支援・事業者担当 |
| 9 | 原田　さとみ | 交野市福祉部障がい福祉課支援係 |